

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2262番

発行所：宇検村役場

編集：総務企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail [soumuk@uken.net](mailto:soumuk@uken.net)

CONTENTS

- P2～3 村長・議長新年のあいさつ
- P4～5 むらの話題
- P6～8 お知らせ
- P9 平成23年度決算報告
- P10 村民のうごき



謹賀新年

巳年



# 常に宇検村の将来を見据えながら

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成二十五年の新春を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。旧年中は、村政発展のため多大なご支援ご協力を賜り衷心より厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、六月の集中豪雨そのうえに八月から九月にかけて台風15号・16号・17号と立て続けに大型台風が襲来し、甚大な被害を受けました。県道の崩落による通行止めや、長時間の停電により村民の皆様が不便とご心配をお掛けしました。復旧に向け全力で取り組んでいる所です。今後は、何時、何処で発生するか分からない自然災害に対して、万全な対策を図って行かなければなりません。

また、十二月に入ってから、県内で交通事故が多発しました。本村に於いても死亡事故が発生し、平成元年から続いた「交通事故死亡ゼロ」が8553日で途切れる事態になりました。「安心で安全な暮らし」ができる環境づくり村民とともに取り組んで行かなければなりません。

この様な中、田検中学校の男子バレーボール部が二年連続で九州大会、全国大会出場という快挙を成し遂げ、村民に感動と勇気を与え、村内外から高い評価を頂きました。関係者の皆様方に感謝を申し上げます。

少子高齢化が進みます進み、学校の存続が危ぶまれる中、阿室校区と名柄校区では、親子山村留学制度により、児童生徒の転入が図られています。

また、地場産農作物活用と生産者の育成の為に販売所「うけん市場」を開設し、地産地消に取り組んでおります。

昨年の暮れには、衆議院の総選挙があり民主党から自民党に政権が変わりました。奄美群島に於いても奄振法の延長の年でもあり、国政と相まって群島に於いても重要な年になる事と思えます。

私も、村長就任三年目を迎え、折り返しの年でもあります。私の政治理念「今日のやすらぎ・明日への希望」をテーマに村民が一体となった「全員参加の村おこし」の村政を更に進める事を念頭において頑張る思いです。

親ふじから受け継いだこの素晴らしい宇検村を更に住みやすい村にするために、常に村の将来を見据えながら行政運営に取り組んで参ります。

これからの地方財政は尚一層厳しい時代になるものと思われれます。村民が安心して安全に幸福感を持つて暮らせる村にするために、議会や村民の皆様方のご理解とご協力を頂きながら村政に邁進していく所存です。

年頭に当たり村民の皆様が健康でそして充実した年でありますよう、ご祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。

平成二十五年一月

宇検村長 元田 信有



宇検村長

元田 信有

## 活力と魅力のある宇検村の実現に向けて

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、宇検村議会を代表いたしまして、村民の皆様にご挨拶を申し上げます。

皆様には、希望にあふれた新春を健やかに迎えることと心からお喜び申し上げます。

日頃から村議会に対する温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、五月に東京スカイツリーが開業し、日本中が喜びでいっぱいだったと思います。また、昨年七月から八月にかけて開催されたロンドンオリンピックでの日本人選手の活躍が、日本中に勇気と感動を与えてくれました。

奄美大島では、度重なる台風や豪雨による甚大な被害が発生しました。土砂崩れにより道路が寸断され、孤立状態になり、さらに数日間の停電と被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。改めて、災害に強いむらづくりと危機管理体制の重要性を認識させられた年でありました。

年末の衆議院選挙には数多くの政党が立ち、

日本中がとまどいだったのでは無いでしょうか。その衆議院選挙におきまして、民主党から自由民主党へと政権交代が行われ、日本国の舵取り役が決定し、新政権がスタートしました。

本村でも、八月の議会議員選挙におきまして、新しい議会がスタートしました。不肖私も議長に就任させていただき、村政の発展と円滑なる議会運営に微力ながら全力を尽くしてまいりました。その間、皆様から賜りました温かいご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

村議会におきましても自治体の自立に向けた、効果的、効率的な行政運営はじめ、地域産業の推進、教育文化の振興、住民福祉の向上など、よりよい宇検村づくりに欠かすことのできない重要な課題が山積しており、これらの政策課題に一丸となって取り組んでまいります。

また、本会議の一般質問の様子を「エフエムうけん」で放送するなど開かれた議会の運営にも努めているところでございますが、今

後とも、村民の皆様のご期待に応えられるよう、活力と魅力のある宇検村の実現に向けて努力するとともに、さらに開かれた議会となるよう全力を傾けてまいり所存であります。

どうか、本年も村議会に対し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、村民の皆様にとつて今年一年が健康で明るい幸せな年でありますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

平成二十五年一月

宇検村議会議長 元山 公知



宇検村議会議長

元山公知



# わきやしま しゅん わだい 宇検村の旬な話題

\*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事を紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎ 0997-67-2211



ロボコン県体会で優秀な成績をおさめた名柄中

## 名柄中ロボコン県大会で活躍

～ 2年ぶりに九州大会へ出場 ～

10月27日に鹿児島市で県中学生アイデアロボットコンテスト大会が開催され、名柄中の徳山 友季くん（2年）が応用部門で優勝し、5年ぶりに大会最優秀賞にも輝きました。

今年で12回目となる鹿児島県大会へは、12校から76名の生徒が参加し、ロボット制作の技術や知識を競い合いました。全校生徒6名が参加した名柄中は、徳山くんに加え授業内部門で瀬戸口 紗彩さん（3年）が準優勝、宮平 空知くん（2年）と山崎 光莉さん（1年）が3位に入り、4名の生徒が2年ぶりに九州大会へ出場。徳山 誉さん（1年）と中田 翔太くん（3年）もベスト8入りを果たしました。九州大会では、宮平くんのベスト16が最高成績で、思うような結果は残せませんでした。来年に向けての貴重な経験をすることが出来たようです。生徒の皆さんは「九州大会は戦術を細かく立ててくるチームがあるなど、とてもレベルが高かったです。来年は必ず全国大会へ出場したいです。」と話してくれました。



多くの来場者で賑わうお魚祭り

## 第5回宇検村お魚祭り

～ 海の幸を味わう!! ～

12月2日に「第5回宇検村お魚祭り」が村漁協前の広場で行われました。当日はあいにくの雨となりましたが、村内外から多くの買い物客が訪れ、焼内湾で水揚げされた魚介類の販売やキハダマグロの解体ショー、抽選会などのイベントで賑わいを見せました。

これは、水産業の推進・振興を目的に村漁業協同組合が毎年実施しているもので、会場では、村内でとれた魚やイカ、イセエビなどの新鮮な魚介類が販売され、限定で準備したエビ汁（一杯500円）とイカスミ汁（一杯300円）が人気で、旨みが詰まった汁を味わう買い物客の姿を見ることができました。来場者は宇検村の海の幸を直接味わいながら各イベントを楽しんでいました。

同組合は今後も祭りを継続して実施する予定です。



キハダマグロの解体ショーのようす

## リュウキュウアユ保全活動

世界で奄美本島にしかおらず、絶滅にちかい状態にあるリュウキュウアユの保護を目的に毎年開催されているリュウキュウアユ保全活動が、十二月二日に行われました。

今回は雨天のため、産卵場の造成作業は実施できませんでしたが、元気の出る館で専門の先生方にリュウキュウアユの生態や保護の必要性などについて説明を受け、リュウキュウアユが生息する石良集落の河内川で生物の観察会を行いました。



参加者全員で記念撮影

## スターウォッチングと出前オープンデー

～ 県立奄美少年自然の家が宇検村で実施 ～

県立奄美少年自然の家が主催する2つのイベントが、宇検村で2日間にわたり開催されました。

12月14日の夕方6時30分からは、「スターウォッチング in 宇検村」がありました。当日は毎年12月中頃に多くの流れ星が見られる「ふたご座流星群」の観察会を予定していましたが、あいにくの曇り空となり星を観測することができず、室内で天体や流星群についての講話を聞いた後、望遠鏡の仕組みについて説明を受けました。

翌日の12月15日には午前10時から午後3時に掛けて「出前オープンデー」が元気の出る館と陸上競技場で行われ、ペットボトルロケット体験や凧づくり体験、ジャンボシャボン玉飛ばしなど、たくさんの活動メニューを子ども達が楽しみながら体験していました。



望遠鏡で遠くの目印の見え方を体験するようす



夢中になって制作活動に取り組む参加者

## 囲碁大会A級で優勝

～ 藤岡さん六段と松山さん五段 ～

昨年の10月と12月に開催された奄美支部の囲碁大会において、<sup>ふじおか</sup>藤岡 <sup>かつひろ</sup>克弘さん（湯湾）六段と<sup>まつやま</sup>松山 <sup>はじめ</sup>一さん（湯湾）五段が、A級の部でそれぞれ優勝を果たしました。



囲碁を楽しむ松山一さん(左)と藤岡克弘(右)さん

藤岡さんは10月14日に行われた第11回市議会議長杯で、松山さんは12月9日に開催された第13回忘年囲碁大会で優勝。両大会とも日本棋院奄美支部の主催で開催されたもので、大会には支部会員や囲碁愛好家の方々が出場し、A級とB級に分かれトーナメントで競い合いました。

お二人とも囲碁歴50年以上のベテランで、普段は囲碁仲間と共に、畑の倉庫やそれぞれの自宅に集まり、自分達のペースで囲碁打ちを楽しんでいるそうです。囲碁の魅力をお聞きすると「囲碁は脳のスポーツとも言われ、常に一手先を考えるので脳のトレーニングになります。」「対局中はとても集中しているので時間が過ぎるのが早いです。」と話してくれました。